

リスクマネジメント最前線

2011-11 (3月30日)

東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050

東京都千代田区丸の内1-2-1

TEL 03-5288-6589

FAX 03-5288-6590

http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/



TOKIO MARINE
NICHIDO

東京海上日動リスクコンサルティング株式会社

http://www.tokiorisk.co.jp/

<東日本大震災 臨時号 No.7>

計画停電地域での交通リスク～暗順応の恐怖～

計画停電は変電所単位で実施されており、その範囲はドライバーから見て入り組んでいるように感じることもある。ここでは、特に夜間、非停電地域から停電地域に入った時に想定される注意点をまとめる。

非停電地域から停電地域への進入時の注意点

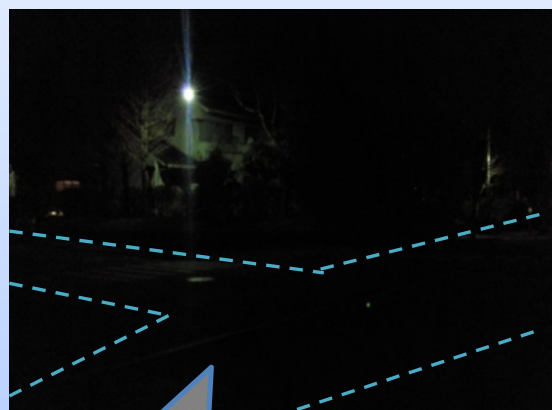
暗順応とは何か？

非停電地域から停電地域へ突然入った場合に想定されることで、特に夜間、明るいところから暗いところへ入ると、その瞬間は何も見えなくなり、時間経過とともに徐々に視力が確保されるという現象が起こる。これを暗順応とよび、この他にも、昼間、明るいところからトンネルに入る場合でも同じことが起きる。
重要なことは順応には個人差があるが一定の時間がかかるので、その間のリスクを回避しなければならない。

視細胞には「桿体(かんたい)」と「錐体(すいたい)」という二種類の細胞がある。

桿体は暗いところで発揮する細胞であり、錐体は明るいところで発揮する細胞である。

このように状況により視細胞の働きが変化しているので、明るいところから暗いところ、暗いところから明るいところなどの急な環境変化には注意が必要。

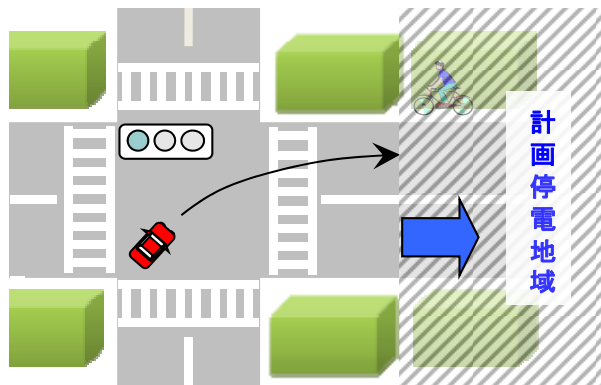


夜間のT字路

水色の点線部は、道路位置を示す。交差点を発見しにくくなっている。

注意が必要な交通場面

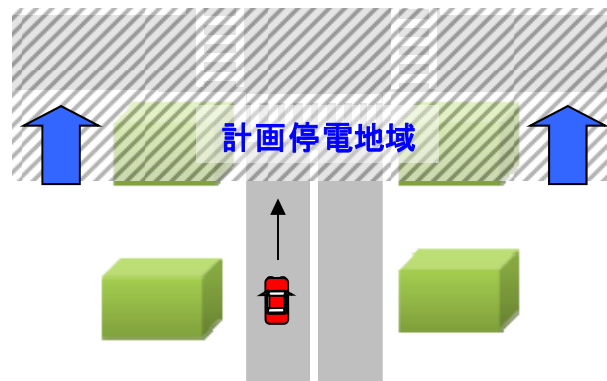
1. 交差点右左折後が停電地域



<右左折後の歩行者や自転車の飛び出しなどを発見できない>

右左折後、横断歩道手前で一旦停止を心がける。このとき被追突のリスクもあるので、右左折行動そのものも減速して行うこと。

2. 停電地域の最初の交差点



<非停電地域から停電地域に入ったときの最初の交差点を見落とす>

停電地域に入り、すぐに交差点があるような場面を想定し、周囲が暗くなり始めたら加速をせず、慎重な運転姿勢を維持すること。